（明治四十一年十二月十三日第三種郵便物認可）（日刊）月曜及祭日之翌日休刊　明治四十四年六月二十九日（木曜日）　第七百十六號　（一）



人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
定價　本紙一枚金三錢▲一ケ月前金三十錢▲三ケ月前金九十錢▲六ケ月前金
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久太郎
印刷人　松久[illegible]
發行所　京城西小門通　京城新報社
電話大六三番　振替口座京城四五六番
仁川支局　仁川宮町三丁目電話二一一番
東京支局　東京市京橋區南佐柄木町七番地

群山俄道中記

山埜水神生

ツ便

臨益水利組合長　藤井寛太郎氏の談

第三、耕地整理、組合地域内は所謂坦々砥の如く殆ど高低がないが、朝鮮耕地の常套として耕作道路排水路及各田畓の區劃畦畔等は甚だ不完全である、從て耕作上の不便少からざるのみならず土地の利用上頗る不經濟なるを以て今回施工に對しても此點に注意を拂ひ總ての水路は直線となしたれば今後設くべき灌漑用水路支線の間隔も各二百五十間の距離を保たしめて耕作道路を設けて各耕地の區劃を一定し、地區を整頓して耕作の便を計り從來の不便不利を除却する積りであります。

第四養魚、腰橋堤の貯水池は其面積一千町歩に達し周圍實に八里に上る廣大なる灌水面積で、灌漑用水使用後と雖も猶ほ水深三四尺の貯水面積二百町歩を越ゆるを以て、該貯水池に鯉魚鮒其他二三種の魚類を放養して附近農民の副業を與へる積りであります、尤も右の養魚につき當初組合に於ては組合の利益を主眼として立案したれども、其後更に考慮を費したる結果組合として斯くの如き些々たる利益に着目するは反つて面白からず、むしろ只單に過度の亂採亂漁を監視するに止め、一般農民に公開して地方産業の一部となし地方細民生業の一端とする方が、本水利組合設立の主意たる利用厚生の根本義に一致すると云ふ事から、前述の如く自由漁獵を許すと云ふ事にした次第であります

第五繩叺の製造及び副業の奬勵、申すまでもなく朝鮮より日本に輸出さるゝ米穀は、一箇年平均百五十萬石内外で之に使用する叺は三百万枚の多數に達して居ります、其他雜用に使用する叺を加算すれば價格に積つて五六十萬圓の叺は毎年本邦より其供給を仰いで居ると云ふ次第でありますが、耕作培養の方法不完全なる爲め朝鮮藁の素質は頗る粗惡にして、繩叺の如きものを製造するに適しない、そこで多大なる冗費を拂つて悉く本邦より輸入して居ると云ふ現狀であるが、元來當地方の農民は單に米作を爲すの外農家の副業としては何等特種の仕事がない、そこで農閑期に於ては空しく徒食して勞力を生産に使用せず、反つて農閑期の遊食によつて多額の生活費を費す爲め、常に必迫の現狀にある是等多數の貧民に對しては、今後は是非共副業を與へて農閑期に於ける遊食の冗費を省かしめ、且つ勞力を生業に使用せしむる事は農事改良の一部として痛切に其必要を認めるので、當水利組合に於ては自今種子及び耕作方の改良併て又施肥の改良によつて得べき良質の藁を以て、直ちに繩叺の製造を一般小作人に講習せしめ、彼等に適當なる副業を授けん事に力むる積りであります、猶ほ此他杞柳藺、等の製造をも小作農家の副業として組合はあくまで是が奬勵をなす積りであります。

第六植林、組合貯水池の涸渇を防ぎ水害旱害等の憂を除かんには、貯水池集水區域内に植林を爲して水源の涵養を計からざるべからず、併せて又地方燃料の供給に資せんが爲め組合に於ては今後漸次植林の計畫に着手する積りであります（藤井組合長の談終り）

●神經衰弱の豫防（三）

（九）梅毒の注意　梅毒には潜伏期があり、潜伏中一期から二期三期と牛長して行く。身體の營養が十分であると、又濃頭上げが出來ないが、それでもコツソリ惡戯をして居る痛い、發疹物とか、眼を惡くするとか、中々大人しくしては居ない、一朝營養不十分、身體が弱つてるなと見込むと、頭を上げて荒廻る。潜伏中に十分神經に心配を掛けて居るから、第三期梅毒に神經衰弱を兼ねて居ないのは無いと云つて可い位である。梅毒の方は全治しても、神經衰弱は居座りと云ふ發目を見る事さへある。

（十）淋病の注意　神經衰弱には淋病が直接原因して居る事がある、淋病に罹ると一晩に何十回も便所に立つ、蒼蠅い。痛む、熟睡の時間が不十分となる好きな物を食ふ事も飲む事も醫師から禁ぜられ、情慾も抑へねばならない。これが一ケ月も二ケ月も續くのであるから、神經過敏の人など早速神經衰弱の仲間に引入れられて仕舞ふ。

（十一）貧血の注意　貧血を起す原因には、胃腸の出血とか、外傷、手術とか種々あるが、神經衰弱に最も關係の多いものは十二指腸蟲、子宮出血などで病氣が永引くと神經衰弱を起すのである。

（十二）乳の注意　乳汁には嬰兒を發育させるだけの營養物を含んで居るから母親の營養は夫れだけ減少するのである、加之も授乳期が永ければ永いだけ母親の營養に影響を及ぼして、結局神經衰弱に罹る。

（十三）酒の注意　酒を少量に用ふると胃の消化が盛んになり、身體も暖まる、少し過ごすと目や耳の感覺が濁つて來る、段々度が重なると慢性酒精中毒になる、酒を飲まないと仕事も出來なくなる、物も云ひたくない、續つて飲むと、胃腸は滅茶々々にされて仕舞ふ。酒に原因する病氣は一つや二つではないが、神經衰弱症も其の主なる一つである。

（十四）煙草の注意　煙草の中にニコチンと云ふ劇藥の含まれて居る事は誰でも知つて居る、ニコチンの恐るべき毒物である事は、僅の分量を含んで居る一本の巻煙草で頭が重くなつたり眩暈を催はしたりするので能く知れる、併し一本が二本、段々馴れて來ると、眩暈も起らず頭も重くない、却つて煙草を吸はなければ、仕事に取掛るのが厭になつて來る、ニコチンの慢性中毒に罹つたのだ、腦神經も犯される、心臟の神經も犯される、血の循環も惡くなる、神經衰弱症から大歡迎をされるにも其れが爲めである。

外事一束

▲蒙古●　科布多及び愛渾に領事館を新設する事に露國內閣會議は決定せり。
▲返却●　蘇家屯新城子間の未成鐵道線路は清國の希望により今回南滿鐵道▲會社●にて清國より賠償金を受取り右敷設を返却する事に決定せりと。
▲佛國●　政府は陸軍問題に付て上院下院と意見を異にし下院は終に政府の

▲拒絶●　したる決議案を二百二十四對二百三十八票の多數を以て可決なし。
▲內閣●　は爲に總辭職をなす政府反對黨は政府黨と比例せる閣員を出されん。
▲北京●　政府は英國政府との間に片馬境界問題を解決せん爲め此際英國に對し
▲片馬●　租借を許可する件に關し討議したるが鐵道外數氏反對決議延期す。
▲墨國●　新內閣は其後圓滿ならず臨時大統領デラバーラ氏意其職を退きて
▲兼任●　の外務大臣も辭職すべし他の閣員亦辭職をなさんとする者ありと。
▲露國●　海軍擴張案は十設年繼續として波羅的及黑海艦隊の再興を圖るに有。
▲豫定●　總額二十四億二百萬留にして波艦隊に戰鬪艦外各種艦四十五を備。

◎新刊紹介

△實業世界（第一卷五號）　四六倍版百二十頁以上の大雜誌口繪寫眞版のみに八頁を埋め表紙にビリケン像を附したるなど株式賣買によりて一攫千金の福運を思はしめ頗る振つたものなり社說に「直取引廢止は不快ならざる乎」あり痛快な議論此他株式界は勿論實業界各班に亘りて有益なる讀物を滿載し趣味及び「たのしみ」欄は趣味湧きて盡くる所なし（一冊十五錢大阪市東區今橋二丁目北浜株式店北友會）

△少年（七月號）　少年の讀物として數多き雜誌中一頭地抜けるの觀あり插繪潤澤山に面白き記事教訓に資する讀物全誌を埋む家庭に必要なるは言ふまでもなし（本號に限り一冊二十錢東京市京橋區南鍋町二丁目時事新報社）

△東京經濟雜誌（千六百號）　財政學に造詣深き小林博士の「資本及勞力の集中」社說に「英國本年度の豫算答案」「工業の健全なる發達と關稅保護」「取引所改善策如何」山本條三郎氏の「對清政策管見」等あり（東京市京橋區彌左衛門町經濟雜誌社一部十二錢）

△朝鮮之運輸（三十號）　朝鮮に於ける運輸交通上の現狀を知らんとするものに好資料を與ふ（一部十錢龍山驛前朝鮮鐵道運輸聯合會）

召使れ初

第八十七回　黙法師

小さき一通の手紙は、五萬幾千石のお奥を騷がして、お仕の手に拾はれたる密書問題は、鼎の湧くが如く彼方此方に傳はりぬ、奥方はお道の忠誠を知らせ、國尾の異心を知らせ、更に相手方澤野の勸め振を知らするが爲め此事は成るべく秘密の中に葬り去らん思召しありたれど、この密書を唯一の武器にして、お道の信用に大打撃を加ゐんとする澤野は、輪に輪を掛けて大奥一体に振れ歩きぬ。

お道樣お顏こそ美しけれど、お心は恐しく、御用聞町人澤老屋鶴右衛門に馴れ初めて、不義の契り淺からず、密にお文の贈答をも爲させられた天罰は覿面、澤野樣御內お仕の手に拾はれた氣、何れはお役人衆お手に渡され、憂い目の數々見させられるでござりませう喃、國尾樣お召使から、一足飛の御出世、行く〳〵は御前付きた中﨟にも經上らせう望みの光り持たせながら、高が町人を相手の不義可惜れ身を泥土の中に埋めさする、お道樣御出世も異の、此場の夢見るやうでござりました喃、

これお奥の彼方此方に取り離さるゝ取沙汰なりき、奥方思召しにては、誰にも知らさず捨て置かん心構へにあらせしが、今はそれすら協ひ難き羽目となりぬ、お道の身に万一の故障あらば、國尾勢力の一半を殺がるべく、國尾勢力に缺くる處あらば、富貴姫樣御身にうれだけ障のかゝる理なり。奥方御苦心はこれにありき、奥方御嘆きもこれにありき、

奥方御苦悶、富貴姫樣御身の暗は、澤野の喜悅、政姫樣の光明なり、澤野の希望は、富貴姫樣を日陰見にして、政姫樣を世に立てんとするなり、國尾の勢力を殺ぎ取りて、濱田殿お奥の勢力を自個掌中に握らんとするなり、彼女の奸策は着々として歩を進めぬ、あはれ國尾は澤野が上段に引毅りたる大刀の下に萎縮して、ともすれば受太刀と爲るを如何せん、

「奥方へ申し上げます」と澤野は改りて奥方御座の間へ出でぬ、奥方は夏の日長の徒然を、歌物語に興じたまふなり。

「御前御病氣も、今日は名醫よく治くならせて、早やお表へ出させられた、日本晴したやうに思ふわの」

「御前御身にかゝる黒き雲晴れさせて、お家に恐しき邪魔の手掛りありまする、奥方思召し、彼の一條を外所に爲させられるでござりまするかな」

「彼の一條とはのう」

「お道どの不義の御成敗でござります、一滴の濁りは一石の水を濁しまする、お道どの御一人の惡事はやがて、當お館一統の御恥辱と爲らせまする」

「そゝ彼の事かの」と奥方はさのみ氣に止めさせたる体も見ねず「そなたはまだ忘れずに居れぢやのう」

「お家を忘れぬ間は、お家に不忠の御家人を忘れませぬ」

「お道を不忠と云はずちやの」

「掟を破るは不忠第一でござります、不義はお家の御法度ムりませぬか喃」

「彼の一通、道は存じも無い氣に見ゐた、すれば法度を破つたで無い、斯樣な事は表立ちてせぬもの、成行に任せ置いては何うあるの」

奥方は輕きお詞なりき、澤野はずゞと膝を進めぬ



第716호 1911. 6. 29.

京城新報

本町道路の擴張（一）

京城市街中最も繁華殷盛を極め、晝夜共人車の往來織るが如き本町通は[illegible]

[illegible]を増すて好餌を進げ[illegible]が對蹠に一大妨碍を[illegible]勇手段にあらざるやを[illegible]其筋に市區改正の建[illegible]て本町道路擴張期成會[illegible]此時に際し反對論の早[illegible]接すれば、吾人が將來[illegible]見るの秋に當つて着手[illegible]起るべきを豫言せし[illegible]むしや。於是乎、吾人[illegible]何ぞや其實状に照ら[illegible]其民團發達に貢獻[illegible]改正の利益を最先に[illegible]を思ひ、其周圍の形[illegible]具備せるものは、[illegible]なりと云ふにあり、[illegible]に至つては次號に於て

東京電報（廿八日發）

▲露國の拓殖廳　露都通信によれば露國は滿洲殖民の爲め奉天に拓殖廳を設置し殖民の實を擧ぐと

▲露米兩國親和　駐露米國大使は本國政府の命を受け露國政府に對し米國にて歡迎せられたる謝意を表し之に依り兩國間の親和は益々一層鞏固となるべしと述べたり

▲日獨條約御諮詢　今二十八日樞密院會議を開かせられ日獨條約御諮詢あらせられたり

▲日獨條約發表　今二十八日樞密院に御諮詢わりたる日獨條約は本日午後非公式に發表さるべし

▲遣英艦の好評　英國皇帝陛下の戴冠式は廿四日の觀艦式を以て盛典を終了し我鞍馬の容儀は頗る好評を博せりとの公報本日海軍省に達した

▲露國大使歸國　駐日露國大使は昨二十七日午後七時三十分東京出發歸國

▲萬國水產博覽會　萬國水產博覽會は來る十二年の兩月巴里に於て開催する事に決定し我國よりも委員を出張せしめ出品を爲す筈なり

▲淸國軍事參議官　北京來電によれば[illegible]は上諭を發して軍參議官を任命せられたり右に付參謀[illegible]右電報は極めて簡に[illegible]れたる人物は如何な[illegible]た該會の目的は奈邊[illegible]得されども我國の如[illegible]御諮問機關[illegible]列國の如く一國の[illegible]とせば其人物如何及[illegible]も注意を要すべきも[illegible]

▲戸山學校行幸　天皇陛下には明二十九日戸山學校に行幸あらせらる旨仰出されたり

▲軍艦平戸進水式　明二十九日神戸川崎造船所に於て進水すべき二等巡洋艦平戸の進水式には北白川宮殿下御名代として御成りに付同港にては吳鎭守府の嚴島阿蘇宗谷の各艦を派遣し殿下御臨場及御退場の際御定規により海軍禮式を行ふ筈當日齋藤海相伊集院軍令部長松本艦政本部長臨場すべく吳鎭守府よりは加藤司令官臨場すべし

▲東宮展覽會御成　皇太子殿下には今二十八日下上野に開會中の運會展覽會に行啓あらせられたり

▲濟生會第四回醵金　昨廿六日桂首相は濟生會醵金に關し第四回の勸誘をなし三十五萬圓を集めたり

▲交渉中の條約　通商航海條約にして目下交渉中のものは佛、伊、墺、匈、白、西、和の七ケ國と其の他の諸國は現行條約有効期日たる六月十七日迄には成立の見込なきを以て暫定條約となるべし因に葡萄は未だ交渉を開始せざるを以て無條約國となるべし

▲朝鮮師團反對說　朝鮮に師團を新設する事に關し各方面に反對說盛んに起り居れり

▲下岡局長渡鮮　下岡農務局長は安藤技師を隨へ昨廿七日東京出發朝鮮及滿洲の農業視察の途に就けり

▲新聞社の行賞　日露戰役の當時朝鮮に於て發行しかる新聞社に對し左の如く論功行賞ありたり

仁川　朝鮮新報社
釜山　朝鮮時報社
釜山　朝鮮時事新報社

日露戰役の際盡力砂からず特に金盃一個を賜ふ

大邱新報社
木浦新報社
平壤新報社
韓南新報社

同上銀盃一個を賜ふ

雜報

●土木委員會議　既報の如く二十九日午前九時より總督府に於て委員長山縣政務總監以下各部長官明石總長池田通信局長官俵副總裁小原、外波、柴、兒玉、太田の委各員列席寺內總督の臨席を請ひ開會する筈なるが會議の內容は本年度より整理すべき全道の治道計劃並に市區改正等なりと云ふ

●憲兵隊長會議　憲兵隊長警務部長會議は前日に引續き二十八日午前八時より明石司令官警務部長以下各隊長各課長市內憲兵警察署長列席の上開[illegible]

●政務總監兩宮伺候　山縣政務總監は二十七日午後二時より藤波通譯官を隨へ昌德宮に伺候し李王殿下に歸任の挨拶を述べ最後に王世子殿下の御機嫌子委曲陳述されたるに殿下にはいと御滿足の御樣子にて種々御下問あらせられ同三時同宮退出、歸路德壽宮に伺候李太王殿下に歸任の挨拶を述べ三時半歸邸したり

●關釜連絡の改善（續）　鐵道院の關釜連絡船は現在梅ケ香丸外三隻なるも貨客の増加と共に設備増加の必要を認め新造船一隻の建造に着手せるが此二隻進水の上は現在の四隻に加へて六隻を以て專ら旅客の輸送をなし更に明年五月より坂鶴第三阪鶴丸を貨物專用船として此の航路に配し尚一兩年內に貨物專用船二隻を新造し總計十隻を以て本土朝鮮間の連絡の完成を期する方針なりと

●土地調查局會議　臨時土地調查局にては去る二十三日より二十六日迄四日間各地の班長及監查員を召集し收穫、高等級、及地位等級調查其の他一般外業事務の處理に關する會議を開きたるが地方より參加したる班長三名、監查員三十六名にて俵副總裁は收穫高等級及地位等級調查に關する心得並に一般外業に從事するに付ての心得に就き一場の訓示を爲しそれより各種の諮問ありたりと

●鮮人文官試驗規則　總督府令第七十九號を以て朝鮮人判任文官試驗規則發布されたるが殆ど內地人判任文官試驗規則と大差なし

●存廢問題の民會　總督府は近々制令を以て民團制度廢止すべしとの風評あるに付既報の如く京城民會は昨日の會議に於て其名稱の如何に拘らず自治機關の存在を認められん事を決議し二十六日古城民長より總督府に稟請書を提出せり

本町街路の擴張に就て
某有力者談

數年來未決懸案となつて居た、本町通り街路取擴げ問題が、昨今大分噴ましくなつた、其解決の爲に擴張期成同盟會が出來たとの事だが、自分を以てすれば素より當然の話で、實を云へば何故モツト早く本問題の解決に着手せぬかと齒痒く思はれた位だ。併し夫はソレとして遲蒔ながら本町關係の諸氏が期成同盟會を作つて本問題の解決に着手せんとするに到つたのは結構な事で自分の如きは双手を擧げて同盟會の成立を賀し同時に同會が今後首く活動して其目的の貫徹に勉めんことを祈つて止まぬ。只だ茲に僭越ながら本町關係の諸氏に向かつて前以て告げて置きたいことは本問題の解決に因つて最も益するものが本町筋に關係を有する諸氏なるが故に諸氏は本問題の解決の爲に先以て出來るだけの公共的犧牲を拂ふの覺悟を有さねばならぬと云ふ事だ、先づ第一に街路取擴に付て要するところのものは何かと云ふにソレは宅地の收容であるのだ、宅地の收容、只一口に云へばナンでもない樣な事だがドコの市區改正の時でも一番面倒なのが此事である。自分は此事に就いて本町關係の諸氏が甘んじて公共的犧牲を拂ふことの決心を爲さんことを望んで止まぬ、若しも不幸にして本町關係の諸氏等が街路取擴げに要する宅地の收容に關し自己の利害を先にし自己所有宅地の價格を見積るに當つて公共心を缺き却つて是に因つて不意の利益を得んなどとの考を起すに於ては世間の同情は離れ本問題の解決を難からしむるに至らん。右の理由なるを以て本町關係の諸氏等は今日に於ては只だ永遠の利益を考へ當ら取擴げに要する宅地の如きは公共の爲に寄附をする位の覺悟を以て掛るを要すと信ず。

●商會議員撰擧　當會議所半數改撰日愈々三十日午前九時より齋町會議所內に於て撰擧投票執行すべし

●警務機關統一紀念祭　來る七月一日は恰も警務機關統一の一週年に相當するを以て同日部員及市內警察憲兵隊員一同司令部に參集紀念祭を擧行する筈にて目下當日の接待並に餘興等に就て準備中なるが當日午後八時より當地官民を司令部に招待し茶菓の饗應等ある筈なり

●明石總長の宴　來る七月一日は恰かも警務機關統一の一週年なるを以て明石少將は同日午後八時より憲兵司令部に於て紀念式開會旁々納凉の宴を張らるゝ由にて各新聞通信記者等に案內を寄せられたり

●東拓第二次拂込　過般の總會に於て決定せる東洋拓殖會社の第二回株金拂込（一株十一圓五十錢）は來る七月五日までに第一銀行本店及び名古屋大阪下の關京城の四支店にて取扱ふ事に決せるが目下小口の拂込は多少あるも其他は多分期日間際にならざれば拂込を了せざるべしと云ふ

●仁川第五民會開催　已報の如く仁川第五回民會は二十七日午後七時より民團樓上に於て開催せられ出席議員十一名議案（一）埋築地百五十坪は一坪四十五圓を最低價格として賣却の件を理事者に委任の件（二）小學校々舍改築の件（三）民團手數料を加ふる件（四）一札一葉金卅錢の手數料規則中畜犬鑑札從來尋常高等小學校と高等女學校との基本金は二樣に分割しありしを單に一括して學校基金と改正の件等を可決し尚兩學校に對する補助金下付の報告あり同十時閉會す

釜山より
山水道人

釜山停車場の宏壯は、現在に於ては確かに朝鮮一に候。一二三等客待合所附屬洗面所便所の設備は。三府五港の夫れに勝り特に三等待合所附屬洗面所便所まで、全部大理石を用ひたる邊り。流石に海陸連絡の須要停車場として。用意到れるものと推賞致し候て。稅關山邊埋立工事の進捗著しきは。萬事手緩るい朝鮮だけ頗る快心の至りに候。

之に反して新棧橋の大沈下は。設計者工事擔當者兩者夫々辯疏の理由は有る可きも。是を要するに失態たるを免れざるものと存候。

釜山で京城に無いものを求むれば晩春より初秋にかけ。殆ど半歲風雨の外は曾つて一夜も止む事なき俗に云ふ長手通り。東京なら銀座格の辨天町より。幸町に通ずる一帶目貫きの大道に。夜毎幾百となく張り出さるゝ夜店の數々に御座候。

然も夫れが柳原式汚穢卑陋のものならず。相當人士の步を止めて用を充たすに足るはもとより。競ふて各種各樣の新規流行品を竝べで常に店頭清新の趣味を提供しつゝあるは聊か珍とするに足り申候。夫れで連夜日暮時より。老いも若きも團扇片手に散步がてら。蝟集するもの數千人。加之是等夜店が夜毎相當の賣行きありと云ふに至つては誠に面白し。狹き意味に於ける市區繁榮策として。京城にも一つ位欲しいものと存候。

●石川縣視察團　石川縣の朝鮮及滿洲商工業視察團一行は廿七日入京したるが同一行の川崎同事務官及同地素封家男爵横山隆俊氏等は來る三十日安東縣方面より入京し當地には二日間許り滯在すべしと云ふ

●高知縣の鮮海漁業　高知縣の遠洋漁業株式會社は縣の補助を得て朝鮮海の漁業に着手せんことを計畫し過般縣より縣事務官又會社よりは取締役野村敬治氏を出張せしめて其筋と打合せ種々調查する所ありたる由にて出張員は歸縣後準備を整ひ多分今秋より濟州島近海に於て試驗的に漁業を營む筈なりと

●基督教大演說會　二十六日歌舞伎座に開會の當地京城基督教會主催の大演說會は非常なる盛會にて聽衆九百餘名滿堂立錐の地なきに至れり米澤牧師の開會辭及開會の挨拶に次て長田時行氏の「人生と宗教」と題する演說あり第二席海老名彈正氏は「忠孝と基督教」と題し滔々一時間に亙る大演說をなし言々肺腑より熱誠面に溢れ要所に至る每拍手急霰の如く而して九百の聽衆水を打たるが如く靜聽したり尚は一昨日午前十時相生町京城基督教會に於て開會せる婦人會及一昨夜の同敎會の演說も盛會を呈したり

●修養講話會　愛國婦人會役員會員有志は二十九日午後二時壽町日本人商業會議所樓上に於て海老名彈正氏を招き婦人の修養上に關する一般的講演を聽講する由なり

●海老名氏今夜の說敎　二十九日午後八時より開會すゝ南大門外相生町京城基督敎會の說敎左の如し來聽隨意なり

生活の內容　渡瀨牧師
何ぞ基督に來らざる　海老名牧師

●魚油及び肥料製造　神戶田村商會にては明太魚の腸及臟腑を利用して油又は肥料を製造する成績極めて良好にして十貫目の價格三圓以外の相場なるより更にカレイ鰊等と肥料に製造すべく目下着手中なるが從來の產出額は魚油石油罐入凡そ六千乃至一萬個肥料は五六千石內外の見込にて一は海外に輸出し其他は內地の農產肥料にすべく需要の範圍は極めて廣しと

●中尾中將來仁　水路部長中尾海軍中將は二十六日夜釜山より仁川に着し水津旅館に投宿

●工藤長官の入京　全南長官工藤英一氏は長官會議列席のため廿八日午前入京したり

●柴代議士歸東　入京中なりし代議士柴四朗氏は廿七日午後南大門發列車にて歸東せり

●宇佐川男の招宴　東拓總裁宇佐川中將は廿八日午後五時より目下入京中なる各道憲兵隊長及在京の憲兵將校一同をソンタクホテルに招宴す

●岡正矣氏歡迎會　當地有志諸氏の發起に係る日韓瓦斯電氣會社新支配人岡正矣氏の歡迎會は二十七日夜京城ホテルに於て開催され列席者は官民重なる者五十餘名にして發起者の一人市原盛宏氏同氏歡迎の辭を述べ續いて岡氏の答辭あり各歡を盡し宴を撤したるは午後十時なりし

●岩元氏の歡迎會　二十七日午後六時より木尾岩本氏等の發起にて目下入京中の辯護士岩元三志氏をソンタクホテルに招待し晩餐會を開きたるが來會者十數名にして盛會なりし

●武田範之師追悼會　故武田範之師追悼會は二十七日午後五時より[illegible]に於て擧行[illegible]等の吊文擧りて來賓順次燒香を[illegible]後五時半式全く終へたるが、當日の主なるものは總督代理藤波通譯官、石塚木內の兩長官、明石司令官、岡本の兩中佐、永谷、境の兩警視其他新聞通信記者官民有志多數なりき

公人私人

▲奥山嘉一（農商工部技師）二十七日浦尾旅館へ
▲阪上貞信（群山民長）二十七日群山行
▲柴四郎（代議士）二十七日釜山行
▲野村敬治（遠洋漁業取締役）二十七日仁川行
▲石崎直太郎（陸軍憲兵中尉）二十七日群山行
▲安武千代吉（辯護士）二十七日釜山行

▲京城手形交換高▼

月日	金高	枚數
六月二十八日	二一、一四五四、五六〇	四五三

▲治外法權▼

京城報德會と云ふのが其組織を了つて過日發會式を擧げた、報德の名、何だか二宮宗の[illegible]が有りソウに聞ゐる、併しホントを云へば世間はまだ同會の眞相を知[illegible]▲サテ世間が眞相を知ると知らぬとして同會が報德の名を冠する以上は健かに良いもの〻筈だ、ドーカ同會諸君は發會式を擧げただけで三日坊主に終らぬ樣に何かの事業を爲すべきであるのだ▲近時我京城の宗敎界、殊に基督敎界の色めけるは目醒しいことだ、一方に海老名、小方來れば一方に植村來る、其何敎會が弱を爲すかは注目の値ありだ▲茲に[illegible]基督敎界に比して佛敎界一向に振はず、如何に涅槃宗とは云へ今日の惰眠はアンマリである、希くば佛敎界の有志者、起つべしである▲湖南線の一部が近く開通するとの事だ、南鮮の富之が爲に増し太田の繁昌之が爲に加はる、今の[illegible]は何よりも鐵道の事だ▲二十七日本紙本欄にあつた宇佐美內務部長の講演に對する批評の一部は甚だ穩當を欠たりと信ずる、亦た石田視學、宮[illegible]演に對して爲したる批評の一部も[illegible]なりと信ずる、故に記者は茲に特に[illegible]て前記不穩當の部分を訂正する。

內地巡禮日記
本日休載

相場電報
[illegible]

大坂期米電報
[illegible]

仁川米豆取引所
[illegible]

京城驛貨客
[illegible]

仁川港出入船舶
[illegible]

●相場電報(廿七日)

		寄付	引
東株	六月	三二九、〇	三二五、〇
京鐵	期	出來不申	出來不申
紡績		五九、六〇	五九、八〇
鐘紡		九九、七〇	九九、三〇

	寄付	引
大阪株式	一一七、六〇	一一五、〇〇
大阪株	八六、六〇	八六、八〇
鐘紡	一二〇、九〇	一二〇、二五
大阪鐵道	一一九、〇〇	一一五、〇〇
取引所	一一五、〇〇	一一二、〇〇

●大阪期米電報

[illegible]十七圓七十錢▲止十七圓七十五錢▲八月 十七圓七十二錢▲止十七圓六十七錢 寄十八圓三十二錢▲止十七圓六十二錢

●仁川米豆取引所

[illegible]

▲京釜鐵道 南大門驛乘降客(廿七日分) 一三四 [illegible]

龍山驛乘降客(廿七日分) 二五一 降車客 一四五

貨金 二七六、一四〇(廿七日分)

仁川港出入船舶

▲群山丸 二十八日大阪より入港 ▲大石丸 同 同 ▲三笠丸 同 安東縣へ向出帆

京城 藝妓の半生(四六)

菊家 文之助(七)

一寸筋書が狂つた、と云ふのは文之助が看護婦を廢めてから再び藝妓生活に入つた土地を廣島としたのは筆者の記憶違ひで實は夫れより以前同じ廣島縣下は賴山陽先生の後裔たる賴家の住地、竹原の鹽田の花月樓と云ふのから出て居た事があつたのだ、何故其樣賑はぬ所から出たかと云ふと當時彼れには藝妓と云ふ稼業に一種の羞耻を感じて居たから何うかしたら其の境遇から脱したいと云ふ考へが常に頭腦を往來して居たので特に然う云ふ邊僻な土地を撰んだものであるが日に増し實家に對する負擔の重くなるに伴れて女の手でこれを支へて行くと云ふには何う考へても藝妓より他に好い職業がない、尤も一年二年と後顧の憂ひなく勉強する事が出來れば現在助産婦としても立てるが今日食ふ糧に追はれて左樣した悠長な事は出來ない、是に於て餘儀なくも彼れは藝妓を以て身を立てやうと決心した、然り決心して見ると斯樣邊僻な土地に居るのは得策でないと悟つて小達耻を忍んで廣島條原劵から出たのであつた、色の黑くなつたのも鹽田の其の鹽風に吹かれたからであつたことを追加する、扨廣島で稼いで居る三十八年の七月頃朝鮮の好景氣なることを耳にし彼れは何うで稼ぐならと云ふので朝鮮入を思ひ立つて口入屋に頼んで置いた八月上旬淸華亭の女將と揃翠の女將の兩名が藝妓抱への爲め滯在して居たので判人の紹介で逢つたが何分にもの黑ん坊なので兩名とも一目見て首を傾げた文之助にして見れば藝妓は面で賣るは賣らないんだの腹がある面を見た丈けで藝妓の價値が知れるかいの啖呵であつたから相談は不調に歸したが

其の年の十二月に揃翠の女將が再び妓籠を仕入れに上つた時彼れが藝能にして頗る流行妓なることを聞き知つて抱へて歸つた、藝名は其の儘の文之助で、出して見ると成程賣れる色氣なしで盛んに賣れる斗りか其の機才は物に應じ變に處して煥發する少時の間に彼れは女將の片腕となつた、情夫の取り持ちは何うか知らぬが其の手切れには關係した此れは當時の新聞に詳しいから略する、實際一時は揃翠の文之助か文の助の揃翠かと迄唄はれたものである、四十二年の四月より十一月迄の間眼病に罹つて一時は盲目になつたが福岡の大學病院に入院治療した甲斐があつて失明の人とはならなかつたが、其代り山程借金を背負つた、夫れ程揃翠の爲めに盡した彼れも一朝感ずる所あつて獨立することゝなつて揃翠を退く時には面白からず別れたのだが今日では出入りしてる、右樣の流行妓たりしからにれ引立を蒙つた紳士大官の數も夥しいが故伊藤統監には時に引き立てられたもので屢々內地へ連れ伴をした程であつたから藤公がハルピンに兇手に斃れられたと聞いて一時は失神した、此の時である內地の諸新聞に京城の老妓文之助或は京城の名妓文之助と其の名を喧傳せられたのは、當地で浪花節を唸る方は皆彼れの最負客である、村上東亞煙草の番頭だ淺野物産は彼れの弟子である、書けばまだ澤山あるけれど餘り長くなるから一先づ筆を擱く(次は

花月の小達磨

野暮を云はず母樣

▽好いた同志だ添はして仁川花町〇〇樓の長女よし子と云ふは本年の春實母が最早れ前も成長く成たから肩掛を卸した方がよいよと云ひしによし子は未だ恥かしがつて居た位なれば未通女と思ひの外何日しか西內と云ふ〇〇組の店員と好い交情に成て共に大熱々の大逆上互に末來は夫婦ですと取替したるは二人が衣服の片身よし子曰く是れさへ有れば縁合あなたが雜履穢ひやとて私は安心して居ますと度胸をすゑて居る程なるに親の心子知らずに非ず子の心親知らずで母親は數日前の事より最早よし子も相當の年頃に成たにより好い養子を迎んものと偶々郷里へ歸省し金の草鞋で養子詮索に取蒐りたるよりよし子は氣が氣でなく當時鎮南浦へ出張して居た西內を呼返し相談をさく〳〵怠りなしと云へば如何に話が纏るやら何れ二足の草鞋ではないか母の歸宅する迄が見物なりとは昨今近所での大評判だが好いた同志だ添はせて遣るさ

●誹毀事件第二回公判

牧山電通支局長より新半島主幹山道襄一に係る誹毀の告訴事件は廿八日午前十時より京城地方裁判所に於て第二回公判を開かれたるが瀧檢事は刑の適用につき被告を三十圓位の罰金に處すべしと論告あり之れに對し辰市、岩田、木尾、永井の各辯護人は何れも無罪を主張し茲に其辯論を終りて原告訴訟代理人白井、岩元(大邱辯護士)の兩辯護士より私訴の申立として全國五十餘新聞に謝罪文を掲載すべしとの請求に對し被告辯護人は之れを非認し最後に瀧檢事は私訴に對する意見として被告は雜誌新半島の紙上に謝罪文を掲載せば足れりとの意見を述べて茲に閉廷を告げたるが判決は來る七月三日言渡ある筈なり

●亂倫女の嬰兒壓殺

原籍山口縣大島郡沖浦村字樋田平民市右衛門四女青木わさ(二二)は今四十四年二月渡鮮し同人の實姉かめ(二八)が當時龍山神明町三十九番地牛塚源三郎方に同居中義兄なる前記源三郎と不倫にも私通し懷妊分娩せし女兒を龍山神明町旭川へ壓殺放棄せし事此程龍山警察署の手に發見せられ殺人犯として檢事局へ送らる

●傷害事件の判決

待合春日主人橋本春吉は檢事の求刑通り懲役八ヶ月に處せらる

●巨象愈々來る

豫て報導したる當地旭町民團役所裏にて開園すべき矢野巡回動物園にては注文しありたる印度ヒンナン產の巨象の到着を待ちて初日開園の都合なるが愈々二十八日神戸着同日出帆の基隆丸に移積し七月一日仁川着同所より陸路直ちに京城に入り即日一般の觀覽に供する都合なりと

●竊盜も行れば橫領も

原籍福井縣丹生郡荻野村字細野番地不詳平民農金太郎四男渡邊秀治(二三)は先年渡鮮し龍山漢江通二丁目に居住中本年四月初めより五月末迄に龍山鐵道構內第八號地經營店大阪屋より信玄袋、衣類八點を窃取し尚同店の貸賦代金十五圓十五錢を橫領し桃山遊廓にて費消せし事發覺し龍山憲兵分隊より檢事局へ送らる

●家宅侵入

として長崎縣下縣郡奴加岳村當時住所不定波多野義範(ヨセ)は南部署に於て浮浪罪として拘留十日に處決され不服として正式裁判を仰ぎたるが檢事局に於ては取調の末家宅侵入の點ありとて告發され即時令狀執行されたり

●迷へる家鴨

仁川山手町各國居留地會構內へ去二十三日午後六時頃家鴨二羽紛は背負はず背ブラで逃走し來り其儘他に行かざるより同處の島崎要一氏飼育なし居る由心當りの者なきや

●罰金と無罪

去る六月六日南部署に檢擧されたる賭博犯人小櫻吉松(三七)は懲役六月樋口甚兵衛(三)は懲役六月宮崎安太郎(三七)は懲役三月森元次郎(四)は罰金三十圓に處せられ岩田榮三郎山口龜吉藤井あいは無罪の言渡ありたり

●仁川のボヤ

一昨廿七日午後十一時仁川栗木洞一統七戸金生善次方の温突より發火し藁屋根に延燒し一時大騷ぎとなりしを早速消防隊馳付消止む損害五十圓餘なり

●科料

大阪市生れ當時明治町一丁目荻良太郎(三)山梨縣人當時御成町雨宮ひさ(四七)廣島縣人當時旭町一丁目菅岡學而(二七)山口縣人當時旭町二丁目加納きされ(二)の四名は二十八日午前二時牛頭賭博の現場を南部署に檢擧され各科料金十圓に處せらる

●万引

三重縣人當時櫻井町三十九番戸伊藤仁三郎及妻マエは夫婦共謀して本年四月より六月に掛け本町通り各呉服商店にて數百圓の萬引を爲し南部署に捕れ取調中

勸進帳を觀る

▽二十七日夜の壽座は片岡松之助一行の評判が甚だ良い今迄にない結搆な芝居を見せると瑞夢君が云ふ而して其盲葉尻に「見落して後悔めさるナ」と着けて念を押す「カナ」と考へてる內に二十七日も午後は入時半になつた「遲からう」とも思つたが瑞夢君の「見落して後悔めさるナ」が路拂に氣がかりなので据引踊折つて大當の体で驅け着けた啣物だけでもと云ふ連中の迂路付いてる間を脱けて木戸口、緞帳には「大阪梅田?紅葉館」との囊が引かれてあつた代り目なんだ、ヅーイと通つた東の高、此所は見る目も眩む斗り解語花が其の麗艶を競つて居る、香水の匂ひ鼻毛も枯れん斗りに漂ひわたる、井門、揃翠、花月、淸華と打ち交りて、此處でフト妙な事が拙の胸に浮んだ「此の姐さん達も近く軍艦さんの手に依つて軍隊教育を受けるんだナ」と其の氣で見ると流石の姐さん達の顏も愛も荒びて見ゆ「氣の毒だ」と思つた刹那入つた柝の音に我れに返ると幕は開いて松之助の三日月治郎吉、卯左衛門の白須甲斐が訣別と云ふ一幕、何うも中途から見るのだからダレルべき筈が薄いのみかトモすると斯うした揚面の卯左の呼吸にチト不足を感じたので目を瞑つて其の展開を待つた、要するに此の劇は中途から見たのであるから評判めいたものは次に讓つて而して一口に見た所の出來榮をなるものを申すと椽郎のれいくら及び予役の誰れやらがキビ〳〵として可かりしと云ふに止めよう。大切が例の「勸進帳」中檢藝妓の出語りと云ふれ景物附き、此れや此の男も女も小供衆も知るも知らぬも此れ一番が當て込みの開かぬ前から眼を光らす、輕い木の音で幔が引かれる舞臺花道一面の舞臺〇〇〇れば申分ないが略しての舞臺、正面に唄は敦子を立に江戸奴、若一、三太を立にヅラリ居流れたるは綻が三太の顏は朦朧たる醉眼の殘念とも申さうか見ぬ申さず、下方は陰、と申すも舞臺が小さいからなり。見よ、も少し大袈裟だが兎に角御覽なさいアノ幕が引き切れませんぢや御座いませんかよ一番奴仕つて下さいよ、俳優が可哀そうですよ。長太郎の富樫れ約束の着つけ体を固め眼を据わたる能の構ゑ。番卒二〇人紋盡しの狂言袴、スルリ〳〵と能狂言の足取で靜かに何れも正面へ向つて座が定まる、型の如く科白渡つて番卒の心得申して候で切れるゝ高く響く笛の音ヤ、ヲー、ヤ、ヲーの聲が繰返されてる內を富樫は型の摺足に正しく上手寄りに下手に向つて葛桶に腰を掛ける、と長唄連中の「旅の衣は篠掛の露けき袖やしほるらん」絃の音も靜かに「時しも頃は如月の〳〵、十日の夜」の聲に三太の撥は忙しく鮮かに場內の空氣を揺り動かして絃の音は爽だ「月の都を立出て」で三人の聲三人の三味線が一調子?に敷か之れに績んでイヤ、イヤ、イヤーの掛聲と共に鳴る、我れ等の胸は躍り舌も硬ばる斗り肩唾を屛む「これや此の、行くも歸るも別れては」賑かに而して靜かな合奏はつづく、唄に伴れて揚幕から卯左の義經が出る型の如き着つけ花道中程—と云ひたいが中程にも上程にも花道は彼れ丈けしかない—に東向に停る「知るも知らぬも逢阪の山隱す」上を目上げて西側に向ふ「難ぞ事はゆかしけれ」唄は一とくぎりカヌメた相方に四天王が出る「浪路遙に」や陣常坊も出た「行く舟の海津の浦に着にけり」で奥山の辨慶も何時の間にかのつしりと出て居る、サア此れで皆んな出た、駄評は明日だ(ばく生)

●演藝だより

●壽座 片岡松之助一行の二十九日代り藝題は前に「義士銘々傳大高源吾」中は「源平布引實盛物語」「三勝半七酒屋の段」切狂言が「野晒吾助」にして何れも得意の演し物なれば早く〳〵實盛、宗岸、野晒吾助(松之助)女房てまん、れその半七、娘れしづ(片岡右衛門)大高源吾、浮世渡平(飛雀)笹賣加助、松浦公、わび助(奥山)父宇兵衛(松十郎)大場の仁左(長太郎)妹のい、葵御前、三勝、娘れたい(卯左衛門)

●浪花館 合併演藝會廿九日の演物てよ辨慶(枝輔)曾の常盤(枝め吉)ない物買(枝三郎)高の名物 圓三 高砂屋(芝鶴)戌寛島別れ(駒彌)春雨茶屋(福圓)宗吾後日譚(柳丈)音曲くらべ(ジョシベール)

平民文庫

▲南山町一丁目末廣內砂川ひさと云ふ人から下の如く申し込まれた▲本月二十四日第七百十二號貴新報三面平民文庫欄內井門支店瀧子より取消文とある記事中妾が本町田中と云ふ男と關係ある如く吹聽せられるたは事實相違にて甚だ迷惑致候間此全文を掲げ御取消被下度條例に依り此段御請求申候也 明治四十四年六月二十五日▲依つて茲に掲ぐ併し瀧子と名乘る人としては此の儘濟されまい(係)▲仁川も此頃繁昌が始まりて中々繁昌して來たので仁川五分島が京城に逃げて來たよで本町五丁目邊に見ゐる皆さん御用心(五分島)▲譯が分らんナア(小僧)▲貴社の京城藝妓の半生は頗る興味を以て讀で居ります此の次は一つ京城の各社會を通じて其人物月旦を書いて貰いたい(エム生)▲夏季は肉吏料理店飲食物に對し衛生上の注意が嚴しい併し中、新地の塵芥捨場には蠅の群が充滿に相主連が嚴いのが衛生係が嚴いのか(散歩生)▲仁川〇〇長〇さんは過日〇〇車入札の際己に最下價格で或人に落札し居るにも拘らず〇さんが手品を遣り今田と云ふ名義を借らせて松尾と云ふ資格なき素人に落札せしめた魂膽を伺ひたい反省せざれば松尾との關係を素破拔きますぞ(入札者の一人)▲仁川海岸附近の某旅館の女將の男狂に就て有數い種子があります記者さん投書しましようか(女中)▲投書を拜見したい(係)

●小兒かんむしの良藥
効能
○ひかん○むしけ○ち、あまし
○ひきつけ○ねあせ○ちばなれ
○かべつちをかむ○かほてあし
つりなどに大効あり

保壽圓（ほうじゆゑん）

價五錢●十錢●二十錢●五十錢
本舖 大阪堂島蜆橋 高橋盛大堂藥局
全國到る所の藥店に販賣す

代理店 京城本町五丁目 木下大盛堂
同 南大通三丁目 新井藥房

神經をしづめ●腦病を全治す●
島村醫學博士の有効證明を得たる健腦丸は、腦病神經病に奇効を奏し、逆上を引下げ、便通を心能し、中風卒中を未發に防ぎ恐るべき腦充血を全治す

腦病全治新藥
健腦丸

記憶力惡き人 頭痛する人
神經衰弱にて氣分鬱ぐ人
常に腦神經を勞する人の
必用藥は獨り本劑のみ也

定價 一日分十錢 三日分廿錢 七日分四十錢 五十錢 二週分八十錢 五週分金二圓
本舖 大阪心齋橋二丁目 丹平商會藥房
分店 大阪平野町 北丹平商店
支店 東京日本橋區 丹平商會支店
●賣藥は全國有名藥店に取次す

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房
振替口座京城十六番 電話一〇六八番九四〇番

弦齋流割烹
き津袮
南山町一丁目 電話千五百二番

磨擦白米
龍山 木村精米所

産婦人科
本院 京城明治町一丁目（電話九六〇番）（新町電車停留所横）
診察時間 自午後一時至五時
醫學士 本間健兒
分院 龍山榎町二丁目（電話龍山二三番）（天満會社裏通）
診察時間 自午前九時至正午
本分院共 入院隨意

新築落成御披露
今春以來新築に着手致し候大廣間及瀟洒なる多數の客座敷は漸く落成致し且つ庭園は東京に於て其技を鳴らせし永樂園主立見氏の手に悉皆改造せられ京風の趣を有之候加之料理は夏季の衛生に尤も注意致し萬事の刷新を期し何卒多數の御宴會且つは京みやげの御晩餐に是非御來臨を賜らん事を奉翼上候
京城永樂町二丁目
酒道樂
電話一二七六番

文房具
和洋紙
測量器械
日本政府檢定濟 度量衡器特許輸入販賣所
シンサキ本店
京城本町一丁目（郵便局前）
電話七百五番 電話長六四八番
振替口座京城一五四番

京城本町二丁目百三十銀行横
野田齒科專門醫院
電話一〇四七番

英國製
直輸入新荷着
實用車 コンマンダー號
歐米各國自轉車直輸入商
京城本町二丁目 織居商店自轉車部
電話四八〇番 電略オ

資本金五百萬圓
神戸海上火災保險株式會社
出張所 京城明治町一丁目（電話一五四九）

新荷着
浪平板 洋釘各種
多數御入用の御方は特に安價に御用談致可候
京城本町貳丁目
和洋金物商 佐野彦藏商店
電話一六三番 振替口座京城二一〇番

朝鮮名産
鶴乃箸
○鶴の骨細工種々
○鶴の羽細工種々
○朝鮮土産品種々
京城本町三丁目 電話一二五〇 振替貯金口座四八
製造發賣元 海市商會
特約發賣元 京城本町四丁目（電話九五六） 日之出商行
特約發賣元 京城本町六丁目（電話二一〇） 西崎本店

薪新建築材料
◎マルソイト便利瓦
◎石綿セメント瓦
◎P&B建築用紙
◎P&Bフエルト
◎P&Bアスフアルト
◎吉田木材防腐劑
京城永樂町二丁目 東京藤原京城支店（電話一八九番）
◎特許自働窓框止
◎建築用金物類
◎壁紙及硝子紙
◎リノリユーム敷物
◎鋼鐵中心飾
◎鋼鐵打出天井板
工事見積等は懇切に御相談に可應候 御用の節は御一報被下度候

總督府及諸官衙御用
荷物運搬 引越荷物受負
伊藤組
電話七二番 電話九二〇番 電話一六〇八番
本店 南大門 第一 同第二

齒科診療
齒科醫 楢崎東陽
京城南山町二丁目（天眞樓跡）
電話千三百六十番

今回諸事改良をなし最も便利に取扱申候
靜養所 仁川 八景園（電話五五二番）

東京
足袋
本店 東京
京城大和町一丁目（日の出橋際）
大和屋 藤井出張店
電話二百〇五番

正札付大安賣 厘毛引なし 安心して買へ升

本場精撰
茶
右銘茶各種新物續々入荷に付御小賣とも大勉強仕候間多少に不拘御用命願上候
仁川本町四丁目（府廳通）
田中芳春園
電話四五〇番 振替京城二〇二番

蒸溜消毒 牛乳
京城壽町五十番戸の一
廣養舍 細川牧場

最上醤油
特約販賣 高雄仁川京城支店

瓦斯コークス販賣
京城黄金町高等演藝館隣
酒井組
電話一二〇九番

仁川山根町 養雞場
韓國銀行舍宅下
白色レグホン ブラックミノルカ 黑色ミノルカ バフオーピントン ブラマ ハンバーグ 黄色ワイヤンドット プリマスロック
右種卵御入用の方には分讓す

弊館には夜番の設備有り
陸軍指定旅館
鐵道院指定旅館
仁川水産組合指定旅館
各保險會社指定旅館
御客樣の安全此の上なし
仁川濱岸
旭屋旅館
電話二五一

酒精アルコール
●新荷着
仁川花町一丁目（電話六五〇番）
坂倉支店

優等
清酒

牛馬犬猫 治療所
入院隨意
京城明治町三丁目
院長 小川家畜醫院
電話四二七番

專賣局販賣品
SKS エスケーエス
各地販賣店

眼科專門
前大韓醫院眼科部長
金井眼科醫院
京城本町六丁目（元軍司令部通り）
電話一五五六番
金井豐七

李王職御用
總督府御用
帝國馬車商會
本店 當地營業所
高等馬車製造業
高等貸馬車開始廣告
電話一四三五番

●諸公債諸株券 現物賣買 迅速確實に御取扱可申候
兼業 洋服和小間物 官衙御用達
京城本町三丁目
大阪野村德七代理店 田中友吉商店
電話九九三